

## 平成28年 (2016)

### 看護学専攻

#### 著書および学術論文

1. 内藤 眞, 青木萩子, 野中昌法 (編) : BISHAMONの軌跡－II～福島支援5年間の記録. 新潟日報事業社, 2016, 新潟.
2. 青木萩子, 齋藤智子, 岩佐有華, 西方真弓. 第3章 浪江町の応急仮設住宅に暮らす住民の健康を支える. 内藤 眞, 青木萩子, 野中昌法 (編) : BISHAMONの軌跡－II～福島支援5年間の記録 新潟日報事業社, 2016, 新潟, pp240-97.
3. 有森直子, 桐原更織, 石田真由美, 関島香代子. 新潟大学医学部保健学科看護学専攻科目「母性健康支援看護論」におけるアクティブラーニングの試み. 新潟大学保健学雑誌. 2016;13(1)19-25.
4. Miyake H, Yamada S, Fujii Y, Sawai H, Arimori N, Yamanouchi Y, Ozasa Y, Kanai M, Sago H, Sekizawa A, Takada F, Masuzaki H, Matsubara Y, Hirahara F, Kugu K. Nationwide survey for current clinical status of amniocentesis and maternal serum marker test in Japan. J Hum Genet. 2016;61(10):879-84.
5. 内山美枝子 : バイオフィードバック, 磁気療法. 尾崎フサ子, 伊藤壽記監訳, Ruth Lindquist (編) : ケアのなかの癒し第版 統合医療・ケア実践のためのエビデンス. 看護の科学社. 2016, 東京, pp121-130, pp367-76.
6. 大口美和子, 住吉智子, 田中美央, 西方真弓, 菊永 淳, 内山美枝子, 宮坂道夫. 新潟市内の小学校における養護教諭の小児喘息の知識と行動についての全数調査. 新潟医学会雑誌. 2016;130(1):68-78.
7. 齋藤みゆき, 小林悠里, 内山美枝子. 顎矯正術を受けた患者の身体的負担の経日的評価. 新潟看護ケア研究学会誌. 2016;2:14-21.
8. 室橋あゆみ, 内山美枝子. 乳がんの化学療法で生じる脱毛への看護支援の動向に関する文献検討. 新潟大学保健学雑誌. 2016;13(1)1-9.
9. 小林恵子, 齋藤智子, 成田太一, 秋山美香, 相馬幸恵, 石井恭子, 児玉恵子, 八子 円. 地域看護診断実習と連動した保健所, 市町村, 地域住民との協働. 保健師ジャーナル. 2016;72:1960-5.
10. Chamika RMA, Kobayashi K, Narita T, Saito T. The realities of lifestyle, health behavior, and quality of life of university students. J Health Sci Niigata Univ. 2016;13(1):11-8.
11. 小山 諭. 【がんの栄養管理と栄養指導エキスパートガイド】Glasgow prognostic score. 臨床栄養. 2016;129(4):411-3.
12. 小山 諭, 若井俊文. がん患者と抗酸化物質とは? 丸山道 (編) : 癌と臨床栄養第2版. 日本医事新報社, 東京, 2016, pp185-9.
13. 諸 和樹, 小山 諭, 永橋昌幸, 長谷川美樹, 利川千絵, 土田純子, 羽入隆晃, 石川 卓, 島田能史, 坂田 純, 亀山仁史, 小林 隆, 皆川昌広, 小杉伸一, 加藤 卓, 渡辺 玄, 味岡洋一, 若井俊文. 乳管腺腫を背景に発生した微小浸潤アポクリン癌の1例. 癌と化学療法. 2016;43(2):235-7.
14. Sakata J, Wakai T, Matsuda Y, Ohashi T, Hirose Y, Ichikawa H, Kobayashi T, Minagawa M, Kosugi S, Koyama Y, Akazawa K, Ajioka Y. Comparison of Number Versus Ratio of Positive Lymph Nodes in the Assessment of Lymph Node Status in Extrahepatic Cholangiocarcinoma. Ann Surg Oncol. 2016;23(1):225-234.
15. Miura K, Kobayashi T, Zhang Z, Soma D, Hirose Y, Ishikawa H, Takizawa K, Nagahashi M, Sakata J, Kameyama H, Minagawa M, Kosugi S, Koyama Y, Wakai T. Study of Immune Tolerance Cases in Adult Living Donor Liver Transplantation. Transplant Proc. 2016;48(4):1119-22.
16. Mitobe Y, Koyama Y, Aoki H, Shimizu U, Muramatsu Y, Koyama C, Sakai S, Iwasa Y, Kikunaga J, Taguchi M, Nitta M, Endoh H, Kitajima M, Morishita S. Effect of the Early Introduction of Mild Mobilization Performed by Nurses on the Recovery of Patients in the Intensive Care Unit. O J Nurs. 2016;6:969-75.

17. Moro K, Koyama Y, Kosugi SI, Ishikawa T, Ichikawa H, Hanyu T, Miura K, Nagahashi M, Nakajima M, Tatsuda K, Tsuchida J, Toshikawa C, Ikarashi M, Shimada Y, Sakata J, Kobayashi T, Kameyama H, Wakai T. Low fat-containing elemental formula is effective for postoperative recovery and potentially useful for preventing chyle leak during postoperative early enteral nutrition after esophagectomy. Clin Nutr. 2016;35:1423-8.
18. 坪口晋太郎, 矢島隆二, 樋口 陽, 石川正典, 河内 泉, 小山 諭, 西澤正豊. 緩徐進行性の経過を辿り腫瘍治療と免疫療法が有効であったYo抗体陽性傍腫瘍性小脳変性症の1例. 臨床神経学. 2016;56(7):477-80.
19. 小山 諭, 遠藤麻巳子, 大溪彩香, 諸 和樹, 土田純子, 辰田久美子, 永橋昌幸, 五十嵐麻由子, 中島真人, 庭野稔之, 若井俊文. 保存的に軽快した鈍的甲状腺外傷による頸部血腫の1例. 新潟医学会雑誌. 2016;130(9):543-9.
20. 沼野博子, 住吉智子. 子どもの自己表現を促す遊びーデザインとの協働に向けたHPSからの提案ー. 日本デザイン学会誌. 2016;24:2-5.
21. 野澤祥子, 住吉智子. 慢性疾患をもつ子どもの将来を見据えたデザイン. 日本デザイン学会誌. 2016;24:6-9.
22. 若井菜摘, 清野由美子, 中村 勝, 関井愛紀子. 精神科デイケア通所者の抗精神病薬の副作用への対処方法に関する研究. 日本看護学会論文集在宅看護. 2016;46:55-8.
23. 関島香代子, 大矢典子. 妊婦の呼気一酸化炭素濃度と喫煙状況に対する受け止め方の検討. 日本母性看護学会誌. 2016;16(1):57-65.

## 学会発表および研究会発表

1. 青木萩子, 平野慶子, 佐藤祐美子, 池田葉子: 急性期治療病棟における認知症患者の気分に影響する要因分析. 第31回日本老年精神医学会(金沢)2016.6.23-24.
2. 青木萩子, 齋藤智子, 岩佐有華, 西方真弓: 応急仮設住宅に長期に居住する一高血圧高齢女性の生活様相. 第10回日本慢性看護学会学術集会(東京)2016.7.16-17.
3. 青木萩子, 岩佐有華, 齋藤智子, 西方真弓: 応急仮設住宅の長期間居住者における体重, 握力, 片足立の変化. 第18回日本災害看護学会学術集会(久留米)2016.8.26-27.
4. 石崎香織, 青木萩子: 認知機能低下により糖尿病療養行動が不安定になった高齢患者への外来における看護実践のプロセス. 第21回日本糖尿病教育・看護学会学術集会(山梨)2016.9.18-19.
5. 稲垣千文, 大武久美子, 高橋智美, 近藤浩子, 青木萩子: 離島無医地区に派遣された看護師の体験. 第36回日本看護科学学会学術集会(東京)2016.12.10-11.
6. 秋谷 文, 青木美紀子, 深野智華, 有田美和, 有森直子, 玉置優子, 水野吉章, 小笠原智香, 塩田恭子, 熊耳敦子, 堀内洋子, 島袋林秀, 酒見智子, 兵藤博信, 山中美智子: 当院における羊水染色体検査に伴う合併症の検討. 第40回日本遺伝カウンセリング学会学術集会(京都)2016.4.3-6.
7. 水野吉章, 青木美紀子, 深野智華, 有田美和, 有森直子, 玉置優子, 秋谷 文, 小笠原智香, 塩田恭子, 熊耳敦子, 堀内洋子, 島袋林秀, 酒見智子, 兵藤博信, 山中美智子: 当院での周産期遺伝カウンセリング外来の現状. 第40回日本遺伝カウンセリング学会学術集会(京都)2016.4.3-6.
8. 藤田寛之, 佐藤晋巨, 松本直子, 高橋恵子, 菱沼典子, 舟田 彰, 小田垣宏和, 八重ゆかり, 廣瀬清人, 中山和弘, 亀井智子, 朝川久美子, 白倉清美, 有森直子: ヘルス・リテラシーの学習教材を用いた図書館による市民講座実践の試み. 第33回医学情報サービス研究大会(長崎)2016.7.2-3.
9. Terashima A, Arimori N: A literature review of genetic nursing competences. International Society of Nurses in Genetic (Dublin, Ireland)2016.8.4-6.
10. 島津智子, 有森直子: 看護職者に対する成人ターナー女性のeラーニングプログラムの作成. 第15回日本遺伝看護学会(新潟)2016.9.24-25.

11. 納富理絵, 青木美紀子, **有森直子**: ダウン症候群の出生前検査で偽陽性・偽陰性結果であった者の心理的影響に関する文献レビュー. 第15回日本遺伝看護学会(新潟) 2016.9.24-25.
12. 高橋恵子, 佐藤晋巨, 八重ゆかり, 菱沼典子, 松本直子, 中山和弘, 亀井智子, 朝川久美子, 廣瀬清人, **有森直子**: 市民の健康情報へのアクセス方法の現状と「健康情報へ適切にアクセスできる力」の向上を目指したe-learning教材の評価. 第21回聖路加看護学会学術大会(東京) 2016.9.17.
13. 石田真由美, 西方真弓, 関島香代子, 佐藤 悦, **有森直子**, 定方美恵子: 地域産科医療のニーズに呼応した助産師教育課程の課題 卒業生の従事動向調査から. 第57回母性衛生学会学術集会(東京) 2016.10.14-15.
14. 西方真弓, 石田真由美, 関島香代子, 佐藤 悦, **有森直子**, 定方美恵子: 学士教育における助産学コースプログラムの学び 卒業生のグループインタビューから. 第57回母性衛生学会学術集会(東京) 2016.10.14-15.
15. 小寺由理, 関島香代子, 定方美恵子, **有森直子**: 超低出生体重児の父親が妻・子との相互作用を通じて体験している父親役割. 第57回母性衛生学会学術集会(東京) 2016.10.14-15.
16. 高橋恵子, 菱沼典子, 中山和弘, 亀井智子, 朝川久美子, **有森直子**: ヘルスリテラシー向上を目指したe-learning教材の評価「適切に健康情報を評価できる力」に焦点をあてて. 第36回日本看護科学学会学術集会(東京) 2016.12.10-11.
17. 内山美枝子: 痛みに関する聴覚情報が知覚閾値に及ぼす影響, 日本看護研究学会 第42回学術集会(つくば) 2016.8.20-21.
18. 内山美枝子, 木竜 徹: マンモグラフィ時のポジショニングで生じる頸肩筋群負担の視認化, シンポジウムワークショップ Forum3 次のステップ: 電気生理運動機能の正しい利活用を促すポータルサイト開発. 第17回日本電気生理運動学会(新潟) 2016.11.4.
19. 小林恵子, 関 奈緒, 齋藤智子, 小笠原映子, 成田太一, 堀田かおり, 武田伸子, 山崎雅寛, 荒井利江子, 青柳玲子: 新潟市西区における一人暮らし高齢者の孤立防止対策の構築に関する研究. 2015年度新潟市医師会地域医療研究助成発表会(新潟) 2016.1.30.
20. Narita T, Kobayashi K: Realities of community-living for people with schizophrenia using long-term psychiatric day-care centers in Japan. ICCHNR 2016 (UK) 2016.9.15-16.
21. Kobayashi K: Effect of family support in a team approach for socially high-risk pregnancies. ICCHNR 2016 (UK) 2016.9.15-16.
22. Hotta K, Kobayashi K, Narita T, Saito T: Finding Regional Strengths Using Photovoice. ICCHNR 2016 (UK) 2016.9.15-16.
23. 小林恵子, 山田知佳: 新任者を指導する保健師のリフレクションによる気づきと実践. 第75回日本公衆衛生学会総会(大阪) 2016.10.28.
24. 堀田かおり, 小林恵子, 齋藤智子, 成田太一, 小笠原映子: 高齢者を地域で支援する対策の検討ー孤立実態調査に基づくグループ・インタビューからー. 第75回日本公衆衛生学会総会(大阪) 2016.10.28.
25. 成田太一, 小林恵子: 精神科デイケアを長期利用する統合失調症患者の地域住民とのつながりの現状. 第75回日本公衆衛生学会総会(大阪) 2016.10.28.
26. 小山 諭, 中村卓郎, 片多史明, 北原修一郎, 中瀬 一, 清水博之, 勝連真人: メディカルスタッフにおける臨床栄養学教育ー地域利便性の問題ー. 第31回日本静脈経腸栄養学会(福岡) 2016.2.26. (シンポジウム)
27. 小山 諭, 永橋昌幸, 中島真人, 辰田久美子, 土田純子, 諸 和樹, 利川千絵, 長谷川美樹, 萬羽尚子, 五十嵐麻由子, 坂田 純, 亀山仁史, 小林 隆, 小杉伸一, 若井俊文: 乳癌センチネルリンパ節転移2個以下での非センチネルリンパ節転移の危険因子. 第116回日本外科学会定期学術集会(大阪) 2016.4.15.
28. 土田純子, 永橋昌幸, 諸 和樹, 庭野稔之, 辰田久美子, 利川千絵, 長谷川美樹, 萬羽尚子, 五十嵐麻由子, 小山 諭, 市川 寛, 中島真人, 島田能史, 坂田 純, 小林 隆, 亀山仁史, 若井俊文: 検診発見および自己発見乳癌の臨床病理学的特徴と長期成績. 第116回日本外科学会定期学術集会(大阪) 2016.4.15.
29. 辰田久美子, 永橋昌幸, 大溪彩香, 遠藤麻巳子, 土田純子, 諸 和樹, 庭野稔之, 利川千絵, 長谷川美樹, 五十嵐麻由子, 中島真人, 塩谷 基, 小山 諭, 若井俊文: 当院における炎症性乳癌7例の検討. 第24回

- 日本乳癌学会総会（東京）2016.6.16.
30. 中島真人, 永橋昌幸, 大溪彩香, 遠藤麻巳子, 土田純子, 諸 和樹, 庭野稔之, 辰田久美子, 利川千絵, 長谷川美樹, 五十嵐麻由子, 小山 諭, 若井俊文: 乳がん手術検体におけるスフィンゴリン脂質の定量. 第24回日本乳癌学会総会（東京）2016.6.17.
  31. 永橋昌幸, 大溪彩香, 遠藤麻巳子, 土田純子, 諸 和樹, 庭野稔之, 辰田久美子, 利川千絵, 長谷川美樹, 五十嵐麻由子, 中島真人, 小山 諭, 山田顕光, 青柳智義, 高部和明, 若井俊文: 肥満によって促進される血管新生に対する抗スフィンゴシン-1-リン酸治療. 第24回日本乳癌学会総会（東京）2016.6.16.
  32. 土田純子, 永橋昌幸, 遠藤麻巳子, 大溪彩香, 庭野稔之, 辰田久美子, 利川千絵, 長谷川美樹, 五十嵐麻由子, 中島真人, 小山 諭, 高部和明, 若井俊文: 乳がん患者における腫瘍内スフィンゴシン-1-リン酸濃度と臨床病理学的因子の関連について. 第24回日本乳癌学会総会（東京）2016.6.16.
  33. 諸 和樹, 永橋昌幸, 遠藤麻巳子, 大溪彩香, 土田純子, 辰田久美子, 中島真人, 小山 諭, 高部和明, 若井俊文: 乳癌患者における血中および組織中セラミド濃度の意義について. 第24回日本乳癌学会総会（東京）2016.6.17.
  34. 小山 諭, 諸 和樹, 永橋昌幸, 三浦宏平, 辰田久美子, 土田純子, 中島真人, 若井俊文: 周術期末梢静脈栄養における脂肪乳剤とカルニチン投与の検討. 第53回日本外科代謝栄養学会総会（東京）2016.7.8.
  35. 水戸部優太, 小山 諭, 青木萩子, 清水詩子, 岩佐有華, 白砂由美子, 新田正和, 遠藤 裕: ICU入室患者における急性期からの看護師によるリハビリテーション効果. 第53回日本外科代謝栄養学会総会（東京）2016.7.8.
  36. Koyama Y, Kamiya Y, Moro K, Miura K, Nagahashi M, Tastuda K, Toshikawa C, Ikarashi M, Baba H, Wakai T: Validity of thoracic wall blocks in patients undergoing breast surgery: especially on food intake and pain control. ESPEN2016 (Copenhagen, Denmark) 2016.9.19.
  37. 小山 諭: NSTの現状: 新潟県の場合. 第4回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会（飯山）2016.9.25.
  38. 小山 諭, 小林恵子, 小笠原映子, 齋藤智子, 横野知江, 堀田かおり, 高橋美佳子, 松井美嘉子, 牧野令子, 川村美和子: 地域包括ケアにおける在宅栄養管理の推進: 新潟市の場合. 第13回日本在宅静脈経腸栄養研究会（東京）2016.10.15.
  39. Mitobe Y, Koyama Y, Aoki H, Shimizu U, Mutramatsu Y, Koyama C, Sakai S, Iwasa Y, Kikunaga J, Taguchi M, Hirai T, Nitta M, Endoh H: Early introduction of mild rehabilitation performed by nurses may have positive effect on recovery of ICU patients. EuroNursing 2016 (Roma, Italy) 2016.10.19.
  40. 小山 諭, 遠藤麻巳子, 大溪彩香, 土田純子, 辰田久美子, 五十嵐麻由子, 中島真人, 永橋昌幸, 諸 和樹, 庭野稔之, 利川千絵, 若井俊文: 第49回日本甲状腺外科学会学術集会. 第49回日本甲状腺外科学会学術集会（甲府）2016.10.27.
  41. 辰田久美子, 小山 諭, 遠藤麻巳子, 大溪彩香, 土田純子, 諸 和樹, 庭野稔之, 利川千絵, 長谷川美樹, 五十嵐麻由子, 中島真人, 永橋昌幸, 若井俊文: 縦隔内異所性副甲状腺腫を伴った二次性副甲状腺機能亢進症の3症例. 第49回日本甲状腺外科学会学術集会（甲府）2016.10.27.
  42. 土田純子, 永橋昌幸, 遠藤麻巳子, 大溪彩香, 庭野稔之, 辰田久美子, 利川千絵, 長谷川美樹, 五十嵐麻由子, 中島真人, 小山 諭, 高部和明, 若井俊文: 肥満を伴う乳癌患者における血清スフィンゴシン-1-リン酸の定量. 第78回日本臨床外科学会総会（東京）2016.11.24.
  43. 小山 諭, 遠藤麻巳子, 大溪彩香, 土田純子, 辰田久美子, 五十嵐麻由子, 中島真人, 永橋昌幸, 諸 和樹, 庭野稔之, 利川千絵, 坂田 純, 亀山仁史, 小林 隆, 若井俊文: 乳癌センチネルリンパ節転移2個以下での非センチネルリンパ節転移進展度. 第78回日本臨床外科学会総会（東京）2016.11.24.
  44. 田邊 匡, 佐藤信昭, 尾崎利郎, 小山 諭, 牧野春彦, 椎名 真, 川合千尋, 月岡 恵, 田代敦志, 藤田一隆, 広橋 武, 岡田 潔, 古泉直也, 横田樹也, 佐野宗明: 経過観察症例に対する地域連携 新潟地域における乳癌検診検討委員会の活動と『良性所見情報』の運用. 第26回日本乳癌検診学会総会（東京）2016.11.5.

45. 小山 諭, 小杉伸一, 石川 卓, 市川 寛, 羽生隆晃, 宗岡悠介, 遠藤麻巳子, 土田純子, 辰田久美子, 五十嵐麻由子, 中島真人, 永橋昌幸, 諸 和樹, 庭野稔之, 利川千絵, 三浦宏平, 坂田 純, 亀山仁史, 小林 隆, 若井俊文: 食道癌術後早期の経腸栄養に際し低脂質栄養剤は乳び胸の予防に有用か? 第46回日本創傷治癒学会(東京) 2016.12.9.
46. 大西奈保子, 小山千加代, 中島政文, 西浦淑美, 清水詩子, 井澤玲奈, 柏 美智, 菊永 淳: 特別養護老人ホームにおける看取りへの取り組み—第1報 勉強会の開催. 第21回日本老年看護学会(大宮) 2016.7.23.
47. 柏 美智, 小山千加代: 新卒当時を経て看護師が仕事上の困難への対処の仕方を見出すプロセス. 第32回日本ストレス学会(東京) 2016.10.29.
48. 大久保明子, 小山千加代: 子どもの死を契機とした看護師の態度変容. 第36回日本看護科学学会(東京) 2016.12.10.
49. 角田知穂, 定方美恵子, 関島香代子: 切迫早産妊婦が床上安静治療の中で得ることができた満足感の分析. 第57回日本母性衛生学会総会(東京) 2016.10.14-15.
50. 西方真弓, 定方美恵子, 関島香代子, 宮坂道夫: 母体・胎児集中治療室入院妊婦の当事者視点に基づくQOL評価~QOLが高い妊婦と低い妊婦の特徴~. 第57回日本母性衛生学会総会(東京) 2016.10.14-15.
51. 定方美恵子, 佐藤 悦, 石田真由美, 関島香代子, 西方真弓, 有森直子, 佐山光子: 大学と地方自治体の連携のもとで行うリプロダクティブヘルスに関する女性の健康相談~過去6年間の相談概要と連携の実績. 第43回新潟母性衛生学会学術集会(新潟) 2016.11.
52. 野澤祥子, 坪川麻樹子, 五十嵐真理, 住吉智子: 先天性心疾患児のセルフ・アドボカシー育成に向けた母親の役割変化のプロセス. 第26回日本小児看護学会学術集会(大分) 2016.7.22-23.
53. 浦野三貴, 瀧本理央, 住吉智子, 岡崎 章, 菊池 司: 入院患児のためのAR を用いたストレス・コーピングコンテンツの提案. NICOGRAPH 2016(富山) 2016.11.4-6.
54. 林はるみ, 石田真由美, 坂上百恵, サトウ恵, 高橋俊博, 池主雅臣, 中村 勝, 西方真弓, 西原亜矢子, 堀田かおり, 山崎芳裕, 青木萩子: 将来の妊娠に向けたからだづくりをめざした公開講座「将来子どもが欲しいあなたへ」実践報告. 第15回日本不妊カウンセリング学会学術集会(東京) 2016.6.3.
55. 坪井慶子, 渡邊恵美, 菊永 淳: 失語症患者と関わる看護師のケアと思いの構造. 第47回日本看護学会—慢性期看護—学術集会(鳥取) 2016.10.13.
56. 関井愛紀子, 清野由美子. 転倒予防を考慮した高齢精神障害者の歩く力に関連した調査とフットケアの実施. 第47回日本看護学会—精神看護—学術集会(青森) 2016.9.16.
57. 若井菜摘, 清野由美子, 中村 勝, 関井愛紀子: 精神科デイケア通所者の抗精神病薬の副作用への対処方法に関する研究. 第46回日本看護学会—在宅看護—学術集会(愛知) 2016.10.3.
58. 清野由美子, 関井愛紀子: 看護学生が精神障がい者との触れ合いを通して得た学びと実習に対する思い. 新潟看護ケア研究学会第8回学術集会(新潟) 2016.10.15.

## 放射線技術科学専攻

### 著書および学術論文

1. 風間清子, 坂本 信, 森清友亮, 小林公一, 近藤達也, 田邊裕治. 示指近位指節間関節における接触領域のMRIによる三次元生体内解析, 臨床バイオメカニクス. 2016;37:103-8.
2. 田中翔太, 林 豊彦, 棚橋重仁, 渡邊 聡, 佐藤 卓, 小林公一, 古賀良生, 大森 豪. 大腿骨遠位成長軟骨板と3次元下肢荷重線との位置関係. 臨床バイオメカニクス. 2016;37:121-8.
3. 高橋 匠, 岡庭大祐, 小林公一, 坂本 信, 田邊裕治, 佐藤 卓, 大森 豪, 古賀良生. 2方向スロットラジオグラフィによる立位3次元下肢アライメント評価法. 臨床バイオメカニクス. 2016;37:143-148.
4. 高柳雅欣, 古賀良生, 谷藤 理, 坂本 信, 森清友亮, 田邊裕治. 下肢変形に及ぼす大腿骨負荷の影響に

- ついでの実験的検討. 臨床バイオメカニクス. 2016;37:149-52.
5. 桐本喬晴, 佐藤 卓, 小林公一, プラムディタ ジョナス, 田邊裕治. 3D-3D image matching手法の自動化による人工膝関節設置位置の精度向上. 臨床バイオメカニクス. 2016;3:257-60.
  6. 川上健作, 浜 克己, 小林公一, 坂本 信. 1方向正面動画による歩行解析の提案. 実験力学. 2016;16(2):116-21.
  7. 坂井幸子, 坂本 信, 林 孝文, 坂井 淳, 下村-黒木淳子, 梨田智子, マイクロCTによる脱落歯のミネラル密度評価. 実験力学. 2016;16(2):122-6.
  8. 近藤達也, 小林公一, 坂本 信. 核磁気共鳴画像による膝関節の屈曲に伴うヒト後十字靭帯の生体内力学挙動解析. 実験力学. 2016;16(2):127-33.
  9. 小林公一, 高橋 匠, 岡庭大祐, 坂本 信, 田邊裕治, 佐藤 卓, 大森 豪, 古賀良生. 2方向スロットラジオグラフィと3次元形状モデルによる人工膝関節アライメントと人工関節設置位置評価法. 実験力学. 2016;16(2):134-9.
  10. 坂本 信, 小林公一, 坂井幸子, 遠藤英昭. 三次元歯軸の自動決定法. 非破壊検査. 2016; 65(4):163-8.
  11. 坂本 信. ナノインデンテーションによる骨力学特性評価, 骨質・骨強度の評価. *Clinical Calcium*. 2016;26:81-91.
  12. 坂本 信. 生体硬組織の動的粘弾性測定事例. 動的粘弾性チャートの解釈事例集. 技術情報協会(編), 2016, p387-92.
  13. 古賀良生, 大森 豪, 田邊裕治, 坂本 信. 膝OA発生時に下肢に認められる初期変化. *Bone Joint Nerve*. 2016;6:519-25.
  14. Kazama K, Kobayashi K, Sakamoto M. In vivo three-dimensional analysis of distal radioulnar joint kinematics during forearm pronation-supination. *J Biomed Sci Eng*. 2016;11(1):Paper No.15-00364.
  15. Murayama T, Sato T, Watanabe S, Kobayashi K, Tanifuji O, Mochizuki T, Yamagiwa H, Koga Y, Omori G, Endo N. Three-dimensional in vivo dynamic motion analysis of anterior cruciate ligament-deficient knees during squatting using geometric center axis of the femur. *J Orthop Sci*. 2016; 21(2):159-65.
  16. Hayashi-Sakai S, Numa-Kinjoh N, Sakamoto M, Sakai J, Matsuyama J, Mitomi M, Sano-Asahito T, Kinoshita-Kawano S. Nondestructive evaluation of size and mineral density in exfoliated teeth with hypophosphatasia. *Case. Rep. Dent*. 2016; Article ID 4898456, 6 pages. <http://dx.doi.org/10.1155/2016/4898456>.
  17. Liu J, Kaidu M, Sasamoto R, Ayukawa F, Yamana N, Sato H, Tanaka K, Kawaguchi G, Ohta A, Maruyama K, Abe E, Kasahara T, Nishiyama T, Tomita Y, Aoyama H. Two-fraction high-dose-rate brachytherapy within a single day combined with external beam radiotherapy for prostate cancer: single institution experience and outcomes. *J Radiat Res*. 2016;57(3):280-7.
  18. Katsura K, Utsunomiya S, Abe E, Sakai H, Kushima N, Tanabe S, Yamada T, Hayakawa T, Yamanoi Y, Kimura S, Wada S, Aoyama H, Hayashi T. A study on a dental device for the prevention of mucosal dose enhancement caused by backscatter radiation from dental alloy during external beam radiotherapy. *J Radiat Res*. 2016; 57(6):709-13.
  19. Ohkubo M, Narita A, Wada S, Murao K, Matsumoto T. Technical Note: Image filtering to make computer-aided detection robust to image reconstruction kernel choice in lung cancer CT screening. *Med. Phys*. 2016;43:4098-105.
  20. 柴田久誠, 長谷川晃, 山田淳貴, 李 鎔範, 棚辺博亮, 満間啓二. CT装置の逐次近似再構成法における低コントラスト信号の検出能評価のためのROC解析. 富山赤十字病院研究紀要. 2026;33:7-10.
  21. Takahashi N, Kinoshita T, Ohmura T, Lee Y, Matsuyama E, Toyoshima H, Tsai DY. Z-score-based semi-quantitative analysis of the volume of the temporal horn of the lateral ventricle on brain CT images. *Radiol Phys Technol*. 2016;9:69-76.
  22. 李 鎔範, 高橋規之, 長谷川晃. 頭部CT画像における基底核を含む断面画像の自動選択. 医用画像情報学会雑誌. 2016;33:16-22.
  23. 松山江里, 李 鎔範, 高橋規之, 蔡篤儀. Wavelet係数変換法を用いた医用画像の強調効果の比較評価.

医用画像情報学会雑誌. 2016;33:63-8.

24. 吉田秀義, 高橋千春, 関谷 勝, 大久保真樹, 水沢康彦, 成田信浩. Interventional Radiology装置の線量率測定における留意点. 日放線技会誌. 2016;72(1):63-72.
25. Goto J, Shobugawa Y, Kawano Y, Amaya Y, Izumikawa T, Katsuragi Y, Shiiya T, Suzuki T, Takahashi T, Takahashi T, Yoshida H, Naito M. Development of a Portable Gamma-ray Survey System for the Measurement of Air Dose Rates. Proc. Int. Symp. On Radiation Detectors and Their Uses (ISR2016). JPS Conf. Proc.11, 070007 (2016). <https://doi.org/10.7566/JPSCP.11.070007>
26. Katsura K, Utsunomiya S, Abe E, Sakai H, Kushima N, Tanabe S, Yamada T, Hayakawa T, Yamanoi Y, Kimura S, Wada S, Aoyama H, Hayashi T. A study on a dental device for the prevention of mucosal dose enhancement caused by backscatter radiation from dental alloy during external beam radiotherapy, J Radiat Res. 2016;57(6):709-13.

## 学会発表および研究会発表

1. 齋藤正敏: 電子密度校正のためのエネルギー差分CT画像と仮想単色CT画像との関係. 日本医学物理学会第111回学術大会(横浜) 2016.4.15.
2. 森清友亮, 坂本 信, 風間清子, 近藤達也, 小林公一, 田邊裕治: MRIを利用した示指近位指節間関節における三次元生体内接触運動挙動解析. 第28回日本機械学会バイオエンジニアリング講演会(仙台) 2016.1.9.
3. 小林公一, 高橋 匠, 岡庭大祐, 坂本 信, 田邊裕治: 2方向スロットラジオグラフィと3次元形状モデルによる下肢アライメント評価法. 第28回日本機械学会バイオエンジニアリング講演会(仙台) 2016.1.9.
4. 岡庭大祐, 高橋 匠, 小林公一, 坂本 信, 田邊裕治: 2方向スロットラジオグラフィによる立位3次元下肢アライメント評価法. 日本機械学会第53期北陸信越支部総会・講演会(長野) 2016.3.5.
5. 坂本 信, 森清友亮, 小林公一, 亀田 剛, 坂井幸子, 遠藤英昭, 田邊裕治: 生体内コーンビームCT画像を用いた三次元歯軸の自動決定法. 日本機械学会第53期北陸信越支部総会・講演会(長野) 2016.3.5. (優秀講演賞受賞)
6. 小林公一, 高橋 匠, 岡庭大祐, 坂本 信, 田邊裕治: 2方向スロットラジオグラフィを用いた3次元立位関節アライメント評価法の開発. 日本実験力学会2016年バイオメカニクスワークショップ松島(松島) 2016.3.19.
7. 風間清子, 坂本 信, 森清友亮, 小林公一, 近藤達也, 田邊裕治: MRIを用いた示指近位指節間関節における接触領域の生体内解析. 日本実験力学会2016年バイオメカニクスワークショップ松島(松島) 2016.3.19.
8. 遠藤英昭, 千葉美麗, 金高弘恭, 伊藤秀美, 坂本 信: 歯根破折の原因追究~咬合力の歯槽骨内への拡散~. 日本実験力学会2016年バイオメカニクスワークショップ松島(松島) 2016.3.19.
9. 小林公一, 風間清子, 坂本 信: 大腿部および下腿部の皮膚マーカから推定した3次元膝運動の誤差評価. 日本実験力学会2016年度年次講演会(東大阪) 2016.9.2.
10. 坂本 信, 森清友亮, 風間清子, 近藤達也, 小林公一, 田邊裕治: 核磁気共鳴画像を用いたヒト示指近位指節間関節の三次元生体内接触挙動解析. 日本実験力学会2016年度年次講演会(東大阪) 2016.9.2.
11. 遠藤英昭, 千葉美麗, 伊藤秀美, 金高弘恭, 伊藤秀美, 坂本 信: 歯への応力が下顎骨に与える力学的影響 - 疑似三次元光弾性モデルを用いた解析 -. 日本実験力学会2016年度年次講演会(東大阪) 2016.9.3.
12. 三浦鴻太郎, 坂本 信, 小林公一, Jonas Pramudita, 田邊裕治: 被覆層 - 基質物体のインデンテーション法における三次元弾性理論解析. 日本機械学会2016年度年次大会(福岡) 2016.9.12.
13. 坂本 信, 森清友亮, 小林公一, 亀田 剛, 坂井幸子, 遠藤英昭, 田邊裕治: 生体内コーンビームCT画像による三次元自動歯軸. 日本機械学会2016年度年次大会(福岡) 2016.9.13.
14. 小林公一, 風間清子, 坂本 信: 皮膚マーカから推定した3次元膝関節運動の誤差評価. 日本機械学会2016年度年次大会(福岡) 2016.9.13.

15. 風間清子, 坂本 信, 森清友亮, 近藤達也, 小林公一, 田邊裕治: MR画像を用いた示指PIP関節の三次元生体内接触挙動解析. 第6回東北放射線医療技術学術大会(秋田) 2016.10.23.
16. 佐藤 卓, 望月友春, 渡邊 聡, 谷藤 理, 大森 豪, 古賀良生, 坂本 信, 小林公一, 田邊裕治: 医工融合による人工膝関節の未来 - 評価と目標設定の重要性 -. 第43回日本臨床バイオメカニクス学会(札幌) 2016.10.8.
17. 高柳雅欣, 古賀良生, 谷藤 理, 坂本 信, 中部 昇, 森清友亮, 田邊裕治: 下肢変形に及ぼす大腿骨負荷の影響についての3Dプリンタモデルを利用した実験的検討. 第43回日本臨床バイオメカニクス学会(札幌) 2016.10.8.
18. 森 隆裕, 古賀良生, 古賀 寛, 望月友春, 高井真喜子, 小黒恭史, 小林公一, 田邊裕治: 膝前後X線像における大腿骨・脛骨回旋評価法の開発. 第43回日本臨床バイオメカニクス学会(札幌) 2016.10.8.
19. 坂上勇太, 坂本 信, 森清友亮, 小林公一, 亀田 剛, 坂井幸子, 遠藤英昭: 生体内コーンビームCT画像による三次元自動歯軸の自動決定法. 第43回日本臨床バイオメカニクス学会(札幌) 2016.10.8.
20. 岡庭大祐, 中原大輔, 小林公一, 坂本 信, 田邊裕治, 佐藤 卓, 大森 豪, 湊 泉, 古賀良生: 2方向スロットラジオグラフィによる人工股関節3次元設置位置評価法. 第43回日本臨床バイオメカニクス学会(札幌) 2016.10.9.
21. 杉田魁人, 坂本 信, 森清友亮, 風間清子, 小林公一, 田邊裕治: 中指中手指節間関節の接触挙動の三次元生体内解析. 第43回日本臨床バイオメカニクス学会(札幌) 2016.10.9.
22. Murayama T, Sato T, Watanabe S, Tanifuji O, Kobayashi K, Koga Y, Omori G, Endo N: Three-dimensional in vivo knee motion analysis using single plane fluoroscopy: contralateral uninjured knees of anterior cruciate ligament injured subjects versus normal control knees. Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (Orlando, USA) 2016.3.5-8.
23. Mochizuki T, Tanifuji O, Koga Y, Sato T, Watanabe S, Ariumi A, Fujii T, Yamagiwa H, Omori G, Endo N, Kobayashi K: The gender difference in lower extremity alignment and femoral deformity by three dimensional assessment for osteoarthritic knee, Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (Orlando, USA) 2016.3.5-8.
24. Kobayashi K, Okaniwa D, Sakamoto M, Tanabe Y, Sato T, Omori G, Koga Y: Biplanar slot-scan radiography for evaluation of weight-bearing alignment of lower extremity and implant position in 3D. International Society for Technology in Arthroplasty -ISTA 2016 Boston (Boston, USA) 2016.10.7.
25. Wijesekara DU, Kobayashi K, Sakamoto M: Ascertaining femoral cortical bone thickness ratio between normal and knee osteoarthritis subjects. Second International Conference on Health and Medicine (Colombo, Sri Lanka) 2016.10.23.
26. Sakamoto M: Viscoelastic properties of cortical bone tissues, 5th Annual World Congress of Advanced Materials (Chongqing, China) 2016.6.7. (招待講演)
27. 沼田彩美, 宇都宮悟, 渋谷直樹, 重田尚吾, 棚邊哲史, 笹本龍太: 強度変調放射線治療計画におけるMLCパラメータと線量分布の関係の可視化. 新潟大学・東北大学合同放射線治療・医学物理セミナー(新潟) 2016.1.30.
28. 沼田彩美, 宇都宮悟, 渋谷直樹, 重田尚吾, 棚邊哲史, 笹本龍太: Visualization of influence of MLC parameter value on IMRT-planning dose distribution. 第111回日本医学物理学会学術大会(横浜) 2016.4.16.
29. 沼田彩美, 宇都宮悟, 棚邊哲史, 笹本龍太: 強度変調回転照射における線量計算にMLCパラメータが与える影響の可視化. 第6回東北放射線医療技術学術大会(秋田), 2016.10.22
30. 笹本龍太, 沼田彩美, 宇都宮悟, 早川岳英, 棚邊哲史: 全乳房接線照射における呼吸性変動を加味した線量分布評価. 第118回新潟臨床放射線学会(新潟) 2016.7.9.
31. 菅原秀賢, 大久保真樹, 成田啓廣, 和田真一: Feasibility study for application of nodule-like object function to accurate volume measurement of nodule in lung cancer CT screening. 新潟大学・東北大学合同放射線治療・医学物理セミナー(新潟) 2016.01.30.
32. 郷戸 允, 大久保真樹, 成田啓廣, 菅原秀賢, 村尾晃平, 松本 徹, 和田真一: 3D-PSF模擬結節を用い



- た胸部CT-CADの性能評価の研究. 第23回日本CT検診学会 (柏) 2016. 2.12-13.
33. 大村知己, 李 鎔範, 高橋規之, 豊島英仁: 4D-CTにおける画像加算による画質改善処理の物理特性評価. 医用画像情報学会平成27年度春季 (第174回) 大会 (広島) 2016.2.6.
  34. Ohmura T, Lee Y, Takahashi N, Toyoshima H, Kato M, Kinoshita T: Can iterative reconstruction contribute to low dose CT perfusion? European Congress of Radiology (Vienna, Austria) 2016.3.2-6.
  35. Takahashi N, Kinoshita T, Ohmura T, Lee Y, Matsuyama E, Toyoshima H: Usefulness of a z-score-based semi-quantitative analysis of the temporal horn volume of the lateral ventricle for detection of early Alzheimer's disease on CT images. 30th International Congress and Exhibition on Computer Assisted Radiology and Surgery (Heidelberg, Germany) 2016.6.21-25.
  36. 大村知己, 李 鎔範, 高橋規之, 佐々木文昭, 佐藤祐一郎, 石田嵩人, 豊嶋英仁: 加算平均画像による頭部3D-CTAの画質特性評価. 日本CT技術学会第4回学術大会 (大阪) 2016.6.25.
  37. Watanabe H, Lee Y, Hayashi N, Ogura T, Shimosegawa M, Nakamura N, Ogawa M, Takagi N: Automated segmentation of articular cavity by using computer-aided detection for rheumatoid arthritis in ultrasonography. 18th Asia Pacific League of Associations for Rheumatology Congress (Shanghai, China) 2016.9.26-29.
  38. 大村知己, 李 鎔範, 高橋規之, 佐々木文昭, 佐藤祐一郎, 石田嵩人, 豊嶋英仁: 頭部4D-CT画像の加算処理を用いた新しい虚血評価手法の提案. 第44回日本放射線技術学会秋季学術大会 (さいたま) 2016.10.13-15.
  39. Watanabe H, Lee Y, Hayashi N, Ogura T, Shimosegawa M, Iwasaki K, et al: Computer-aided detection of normal structures of synovial joints for diagnosis of rheumatoid arthritis in ultrasonography. 102th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America (Chicago, USA) 2016.11.27-12.2.
  40. 舟山一寿, 原田一樹, 高橋直也, 青山 崇, 樋口涼子, 渡辺 拓, 川井 桂, 高塚尚和: 皮質動脈破綻による亜急性特発性硬膜下血腫の1例. 第100次日本法医学会学術全国集会 (東京) 2016.6.15-17.
  41. 舟山一寿, 原田一樹, 高橋直也, 青山 崇, 樋口涼子, 渡辺 拓, 川井 桂, 高塚尚和: 皮質動脈破綻による亜急性特発性硬膜下血腫の1例. 法医病理夏期セミナー (横浜) 2016.8.5-6.
  42. 吉川優理菜, 矢島圭祐, 石原歩美, 佐藤祐希, 高橋直也, 大久保真樹, 小林嵐志, 樋口健史, 広瀬保夫: 生前CTと死亡時CTにおける腎の体積変化についての検討. 第14回オートプシー・イメージング学会 (新潟) 2016.8.27-28.
  43. 石原歩美, 吉川優理菜, 佐藤祐希, 高橋直也, 高野英行: 新潟県内におけるAi (死亡時画像診断) の施行状況. 第14回オートプシー・イメージング学会 (新潟) 2016.8.27-28.
  44. 成田啓廣, 大久保真樹, 和田真一: 肺がんCT検診におけるCAD性能評価を目的としたnodule-like object functionの生成. 新潟大学・東北大学合同放射線治療・医学物理セミナー (新潟) 2016.01.30.
  45. Noto Y, Tasaki K, Fukaya T, Kayugawa (Narita) A, Taga T: Basis study on the use of reconstruction process for metal. European Congress of Radiology 2016 (Vienna, Austria) 2016.3.2-6.
  46. Narita A, Ohkubo M, Wada S: Generating nodule-like object functions for CAD performance evaluation in lung cancer screening: feasibility study. 2016 AAPM Spring Clinical Meeting (Salt Lake City, USA) 2016.03.05-06.
  47. Sugawara H, Narita A, Ohkubo M, Wada S: Accurate volume measurement for lung nodule in CT image by deconvolution method. 第111回日本医学物理学会学術大会 (横浜) 2016.04.14-17.
  48. Narita A, Ohkubo M, Wada S: Generating nodule-like object functions for evaluating CAD performance in lung cancer CT screening. 第111回日本医学物理学会学術大会 (横浜) 2016.04.14-17.
  49. 福田真博, 佐野友樹, 吉田秀義, 成田信浩, 小野塚直樹. IVR術者の個人線量計着用部位について. 第71回新潟アンギオ画像研究会 (新潟) 2016.10.29.
  50. 宇都宮悟, 久島尚隆, 勝良剛詞, 棚邊哲史, 早川岳英, 坂井裕則, 山田 巧, 阿部英輔, 和田真一, 青山英史: モンテカルロ計算を用いた歯科用合金からの後方散乱電子による線量増加の評価. 第29回日本高精度放射線外部照射研究会 (東京) 2016.2.27.
  51. 棚邊哲史, 薩摩有葉, 宇都宮悟, 太田 篤, 海津元樹, 成田啓廣, 青山英史: 前立腺癌放射線治療に対する安全な線量増加のためのIMRTおよびIGRTの有効度比較. 第29回日本高精度放射線外部照射研究会 (東

京) 2016.2.27.

52. 太田 篤, 棚邊哲史, **宇都宮悟**, 坂井裕則, 山田 巧, 青山英史: 前立腺癌強度変調放射線治療における3軸補正による金マーカー照合の有用性. 第29回日本高精度放射線外部照射研究会(東京) 2016.2.27
53. 棚邊哲史, **宇都宮悟**, 高橋春奈, 久島尚隆, 重田尚吾, 阿部英輔, 海津元樹, 山名展子, 青山英史: Development of knowledge-based NTCP prediction tools for IMRT treatment planning. 第111回日本医学物理学会学術大会(横浜) 2016.4.14-17.
54. Utsunomiya S, Kushima N, Katsura K, Tanabe S, Hayakawa T, Yamada T, Sakai H, Takahashi H, Abe E, Wada S, Aoyama H: A Practical Evaluation of Backscatter Dose Enhancement Around High-Z Dental Alloy in Radiation Therapy, AAPM 58th Annual Meeting and Exhibition (Washington, USA) 2016.7.31-8.4.
55. 高橋春奈, 棚邊哲史, 斉藤紘丈, 中野智成, **宇都宮悟**, 太田 篤, 阿部英輔, 海津元樹, 青山英史: 悪性神経腫瘍における生物学的モデルを考慮した至適寡分割線量の比較検討. 日本放射線腫瘍学会第29回学術大会(京都) 2016.11.25-27.
56. 久島尚隆, 棚邊哲史, **宇都宮悟**, 笹本龍太, 高橋春奈, 阿部英輔, 海津元樹, 青山英史: 前立腺IMRTにおける直腸線量の知識ベース下限モデルにもとづくDVH解析. 日本放射線腫瘍学会第29回学術大会(京都) 2016.11.25-27.
57. 海津元樹, 中野智成, 田中研介, 丸山克也, 太田 篤, 斉藤紘丈, 塩井美希, 棚邊哲史, **宇都宮悟**, 阿部英輔, 青山英史: 放射線治療後の局所再発前立腺癌に対する高線量率組織内照射を用いた救済療法. 日本放射線腫瘍学会第29回学術大会(京都) 2016.11.25-27.
58. 塩井美希, 阿部英輔, 海津元樹, 丸山克也, 田中研介, **宇都宮悟**, 棚邊哲史, 中野智成, 斉藤紘丈, 太田 篤, 青山英史: 当院における前立腺IMRTの初期経験. 日本放射線腫瘍学会第29回学術大会(京都) 2016.11.25-27.
59. 梅津 修, 捧 俊和, 高頭浩正, 國井正之, **宇都宮悟**, 棚邊哲史, 勝良剛詞, 川口 弦, 青山英史: 放射線治療シミュレーションCTにおけるiMARの有用性. 日本放射線腫瘍学会第29回学術大会(京都) 2016.11.25-27.

## 検査技術科学専攻

### 著書および学術論文

1. 林 真也, 池田友美, 橋詰香織, 八木美菜, 上原桂月, 建部勝彦, 高橋直子, 尾矢剛志, 酒井 剛, **岩渕三哉**, 関谷政雄. 当院における甲状腺穿刺吸引細胞診鑑別困難例の検討. 新潟臨検技会誌. 2016;56(2):72-77.
2. 小菅優子, **岩渕三哉**, 須貝美佳, 林 真也. 小型リンパ球浸潤胃癌の病巣構築, 胃腸型粘液形質発現及び浸潤リンパ球の特徴. 新潟医学会雑誌. 2016;130(10):589-600.
3. **岩渕三哉**, 須貝美佳, 林 真也. 下部消化管NEC/MANEC(大腸)の特徴. 消化器内視鏡. 2016;28(11):1812-22.
4. Tian L, Sato T, Niwa K, Kawase M, Mayanagi G, Washio J, Takahashi N. PCR-dipstick DNA chromatography for profiling of a subgroup of caries-associated bacterial species in plaque from healthy coronal surfaces and periodontal pockets. Biomed Res. 2016;37:29-36.
5. Abiko Y, Sato T, Sakashita R, Tomida J, Kawamura Y, Takahashi N. Profiling subgingival microbiota of plaque biofilms in the elderly. J Oral Biosci. 2016;58:62-5.
6. Van Liefferinge J, Bentea E, Demuyser T, Albertini G, Follin-Arbelet V, Holmseth S, Merckx E, Sato H, Aerts JL, Smolders I, Arckens L, Danbolt NC, Massie A. Comparative analysis of antibodies to xCT (Slc7a11): forewarned is forearmed. J Comp Neurol. 2016;524:1015-32.
7. Soria FN, Zabala A, Pampliega O, Palomino A, Miguelez C, Ugedo L, Sato H, Matute C, Domercq

- M. Cystine/glutamate antiporter blockage induces myelin degeneration. *Glia*. 2016;64:1381-1395.
8. Chinushi M, Suzuki K, Saitoh O, Furushima H, Iijima K, Izumi D, Sato A, Sugai M, Iwafuchi M. Electrical stimulation-based evaluation for functional modification of renal autonomic nerve activities induced by catheter ablation. *Heart Rhythm*. 2016;13:1707-15.
  9. Tagawa M, Ochiai Y, Nakamura Y, Furushima H, Chinushi M. Sustained ventricular tachycardia developed following successful ablation of target idiopathic left ventricular premature complexes. *Int J Cardiol*. 2016;222:686-8.
  10. Tagawa M, Ochiai S, Nakamura Y, Sato A, Chinushi M. Secondly ECG recordings in the emergency room revealed Garenoxacin-induced abnormal QT interval prolongation in a patient with multiple syncopal attacks. *Heart Vessels*. 2016;31:1200-5.
  11. Inoue H, Atarashi H, Kodani E, Okumura K, Yamashita T, Origasa H, Sakurai M, Kawamura Y, Kubota I, Matsumoto K, Kaneko Y, Ogawa S, Aizawa Y, Chinushi M, Kodama I, Watanabe E, Koretsune Y, Okuyama Y, Shimizu A, Igawa O, Bando S, Fukatani M, Saikawa T, Chishaki A; J-RHYTHM Registry Investigators. Regional differences in frequency of warfarin therapy and thromboembolism in Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation - Analysis of the J-RHYTHM Registry. *Circ J*. 2016;80:1548-55.
  12. 長谷川祐紀, 和泉大輔, 大槻 総, 飯嶋賢一, 八木原伸江, 佐藤光希, 池主雅臣, 南野 徹. 断線によるCRT左室リード留置部位の変更で異なる臨床経過を呈した3例. *心臓*. 2016;48:179-86.
  13. 保坂幸男, 池主雅臣, 柏 麻美, 廣木次郎, 土田圭一, 木村新平, 藤原裕季, 中村則人, 酒井亮平, 西田耕太, 高橋和義, 小田弘隆. 心内膜・心室中隔に起源を有する2種類の心室頻拍に心内膜側からのカテーテル治療が有効であった心サルコイドーシスの1例. *心臓*. 2016;48:210-6.
  14. 木村新平, 保坂幸男, 高橋和義, 柏 麻美, 廣木次郎, 土田圭一, 藤原裕季, 中村則人, 酒井亮平, 西田耕太, 池主雅臣, 小田弘隆. 特発性心室細動トリガー期外収縮の焼灼が有効であった冠攣縮誘発試験陽性症例. *心臓*. 2016;48:7-14.
  15. 保坂幸男, 高橋和義, 柏 麻美, 尾崎和幸, 土田圭一, 真田明子, 藤原裕季, 中村則人, 廣木次郎, 小田弘隆, 池主雅臣. 出力を変えた洞調律時ペースマッピングと頻拍中エントレイメントペーシングで, 2つの心室頻拍の近接必須緩徐伝導部位を同定した陳旧性心筋梗塞. *臨床電気生理*. 2016;39:205-14.
  16. 池主雅臣, 鈴木克弥, 齋藤 修, 大矢佳奈, 飯嶋賢一, 佐藤光希, 和泉大輔, 須貝美佳, 古嶋博司. 血圧調整における左右腎交感神経興奮の役割 (実験モデルの神経電気刺激と高周波アブレーション). *心臓*. 2016;48:608-16.
  17. 池主雅臣, 齋藤 修, 奥田明子, 古嶋博司. 器質的心疾患症例の心室性不整脈と自律神経興奮. *心電図*. 2016;36:31-7.
  18. 池主雅臣. 不整脈を科学する. 不整脈原性右室心筋症に伴う心停止発作. *医学の歩み*. 2016;256:697-704.
  19. 池主雅臣. JRC蘇生ガイドライン. 日本蘇生協議会 (監), ALS作業部会 (分担執筆), 医学書院, 2016, 東京.
  20. 池主雅臣. 陳旧性心筋梗塞後の心室不整脈. 村川裕二, 山下武志 (編): 超・EPS・入門. 南江堂, 2016, 東京, p123-7.
  21. 相澤義房, 池主雅臣. 心臓突然死の予知と予防のガイドライン. 最新冠動脈疾患学 (下) 冠動脈疾患の最新治療戦略, 日本臨床74巻増刊号6 (通巻1104号), 2016, 東京, p553-6.
  22. 池主雅臣. 心サルコイドーシスの心室頻拍. 野上昭彦, 小林義典, 里見和浩 (編): 心室頻拍のすべて. 南江堂, 2016, 東京, p298-9.
  23. 池主雅臣. 開心術後 (Fallot四徴症術後). 野上昭彦, 小林義典, 里見和浩 (編): 心室頻拍のすべて. 南江堂, 2016, 東京, p315-22.
  24. Kuroda T, Tanabe N, Nozawa Y, Sato H, Nakatsue T, Kobayashi D, Wada Y, Saeki T, Nakano M, Narita I. Effects of biologic agents in patients with rheumatoid arthritis and amyloidosis treated with hemodialysis. *Intern Med*. 2016;55:2777-83.

25. Kuroda T, Takeuchi H, Nozawa Y, Sato H, Nakatsue T, Wada Y, Moriyama H, Nakano M, Narita I. Acute exacerbation of interstitial pneumonia associated with rheumatoid arthritis during the course of treatment for pneumocystis jirovecii pneumonia: a case report. *BMC Res Notes*. 2016;9:240.
26. Sato H, Kazama JJ, Murasawa A, Otani H, Abe A, Ito S, Ishikawa H, Nakazono K, Kuroda T, Nakano M, Narita I. Serum fibroblast growth factor 23 (FGF23) in patients with rheumatoid arthritis. *Intern Med*. 2016;55:121-6.
27. Sato H, Kondo N, Wada Y, Nakatsue T, Iguchi S, Fujisawa J, Kazama JJ, Kuroda T, Nakano M, Endo N, Narita I. The cumulative incidence of and risk factors for latent beaking in patients with autoimmune diseases taking long-term glucocorticoids and bisphosphonates. *Osteoporos Int*. 2016;27:1217-25.
28. 黒田 毅, 竹内寛之, 若松彩子, 高井千夏, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 森山寛之, 中野正明, 成田一衛. ニューモシスチス肺炎治療中に間質性肺炎が急性増悪した関節リウマチの一例. *中部リウマチ*. 2016;46(1):29-31.
29. 黒田 毅, 若松彩子, 高井千夏, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 中野正明, 成田一衛. メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患治療後に生物学的製剤の選択に苦慮した関節リウマチの一例. *中部リウマチ*. 2016;46(1):32-4.
30. 佐藤弘恵, 高井千夏, 若松彩子, 野澤由貴子, 中枝武司, 和田庸子, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛. 食事摂取量の低下に伴いデノスマブによる低カルシウム血症が悪化した2例. *中部リウマチ*. 2016;46(2):1-2.
31. 星 佳織, 中野正明. 全身性エリテマトーデス患者における抗C1q抗体の測定意義に関する研究. *中部リウマチ*. 2016;46(2):3-6.
32. 黒田 毅, 長谷川絵理子, 若松彩子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 中野正明, 成田一衛. 生物学的製剤により骨病変が修復されバイオフィリー, ドラッグフリーを達成した関節リウマチの一例. *中部リウマチ*. 2016;46(2):7-9.
33. Huang SW, Chen YJ, Wang ST, Ho LW, Kao JK, Narita M, Takahashi M, Wu CY, Cheng HY, Shieh JJ. Azithromycin impairs TLR7 signaling in dendritic cells and improves the severity of imiquimod-induced psoriasis-like skin inflammation in mice. *J Dermatol Sci*. 2016;84(1):59-70.
34. Shibasaki Y, Katagiri T, Kobayashi H, Ushiki T, Narita M, Sone H, Furukawa T, Masuko M. The Dinakara equation for adjusting DLCO for hemoglobin in the HCT-CI is superior to the Cotes equation for predicting high-risk patients in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Am J Hematol*. 2016;91(5):E296.
35. Watanabe M, Nakamura Y, Tomiyama C, Abo T. A specific pattern in the basal body temperature chart during the first week of pregnancy may warn of a miscarriage crisis. *Health*. 2016;8:723-9.
36. Nagahashi M, Matsuda Y, Moro K, Tsuchida J, Soma D, Hirose Y, Kobayashi T, Kosugi S, Takabe K, Komatsu M, Wakai T. DNA damage response and sphingolipid signaling in liver diseases. *Surg Today*. 2016;46:995-1005.
37. Sakata J, Wakai T, Matsuda Y, Ohashi T, Hirose Y, Ichikawa H, Kobayashi T, Minagawa M, Kosugi S, Koyama Y, Akazawa K, Ajioka Y. Comparison of number versus ratio of positive lymph nodes in the assessment of lymph node status in extrahepatic cholangiocarcinoma. *Ann Surg Oncol*. 2016;23:225-234.
38. Iwafuchi Y, Morioka T, Morita T, Watanabe K, Oyama Y, Narita I. Nephrotic syndrome without hematuria due to infection-related glomerulonephritis mimicking minimal-change disease in a child. *Case. Rep. Nephrol. Dial*. 2016;6:14-20.
39. Aizawa Y, Suzuki Y, Watanabe K, Oishi T, Saitoh A. Clinical utility of serum samples for human parechovirus type 3 infection in neonates and young infants: the 2014 epidemic in Japan. *J Infect*. 2016;72:223-232.
40. Watanabe K, Hirokawa C, Tazawa T. Seropositivity and epidemiology of human parechovirus types 1, 3, and 6 in Japan. *Epidemiol Infect*. 2016;144:3451-60.
41. Sanguankiat S, Sato MO, Sato M, Maipanich W, Yoonuan T, Pongvongsa T, Boupaha B, Chigusa Y, Moji K, Waikagul J. First record of *Paramphistomes fiscoederius cobboldi* and *Paramphistomum epiclitum* detected in

- bovine rumen from a local market of Savannakhet Province, Lao PDR. *Korean J Parasitol.* 2016;54(4):543-7.
42. Feldmeier H, Hazay M, Sato M, Tiengkham P, Nishimoto F, Jiang H, Sopraseuth V, Moji K. Morbidity assessment of *Opisthorchis viverrini* infection in rural Laos: I. Parasitological, clinical, ultrasonographical and biochemical findings. *Trop Med Health.* 2016; 44: 12.
  43. Nozaki H, Kato T, Nihonmatsu M, Saito Y, Mizuta I, Noda T, Koike R, Miyazaki K, Kaito M, Ito S, Makino M, Koyama A, Shiga A, Uemura M, Sekine Y, Murakami A, Moritani S, Hara K, Yokoseki A, Kuwano R, Endo N, Momotsu T, Yoshida M, Nishizawa M, Mizuno T, Onodera O. Distinct molecular mechanisms of HTRA1 mutants in manifesting heterozygotes with CARASIL. *Neurology.* 2016;86(21):1964-74.
  44. Takeuchi R, Tada M, Shiga A, Toyoshima Y, Konno T, Sato T, Nozaki H, Kato T, Horie M, Shimizu H, Takebayashi H, Onodera O, Nishizawa M, Kakita A, Takahashi H. Heterogeneity of cerebral TDP-43 pathology in sporadic amyotrophic lateral sclerosis: Evidence for clinico-pathologic subtypes. *Acta Neuropathol Commun.* 2016;4(1):61.
  45. 上村昌寛, 野崎洋明, 西澤正豊, 小野寺理. 【認知症】病態生理 周皮細胞と認知症(解説/特集). *最新医学.* 2016;71:544-9.
  46. 野崎洋明, 西澤正豊, 小野寺理. 【脳卒中はこう診る-新ガイドラインで何が変わったか】押さえておくべき脳卒中のトピックス 遺伝性脳小血管病を診断する(解説/特集). *Medicina.* 2016;53:335-8.

## 学会発表および研究会発表

1. 岩渕三哉, 須貝美佳, 小菅優子, 林 真也: 小さな内分泌細胞癌を伴う管状腺癌の1例. 第88回日本胃癌学会総会(別府) 2016.3.17-19.
2. Sato Y, Yoneyama O, Takeuchi M, Iwafuchi M, Terai S: The pathogenesis and malignant potential of intestinal metaplasia in Barrett's esophagus based on Japanese diagnostic criteria (i.e., columnar-lined esophagus in the USA) in Japanese patients. *American Digestive Disease Week 2016 (San Diego, USA)* 2016.5.21-24.
3. 林 真也, 池田友美, 橋詰香織, 八木美菜, 上原桂月, 建部勝彦, 酒井 剛, 関谷政雄, 岩渕三哉: 当院における甲状腺穿刺吸引細胞診の一検討. 第57回日本臨床細胞学会総会(春期大会)(横浜) 2016.5.28-29.
4. 山田健太郎, 大沼 睦, 宮下真平, 宮ノ越裕理, 岩渕三哉, 須貝美佳: HNF4 $\alpha$ の発現による膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)の悪性度分類の検討. 平成28年度(第5回)日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会(新潟) 2016.10.2.
5. Nishigaki Y, Sato Y, Iwafuchi M, Terai S: Hepcidin expression in the intracellular canaliculi of gastric parietal cells and mucosal lymphocyte, including lymph follicles, in patients with *Helicobacter pylori*-related nodular gastritis and chronic gastritis. *Asia Pacific Digestive Disease Week 2016 (Kobe)* 2016.11.2-5.
6. Tian L, Sato T, Niwa K, Kawase M, Mayanagi G, Abiko Y, Washio J, Takahashi N: PCR-dipstick DNA chromatography for multiplex and semi-quantitative analysis of plaque biofilm microbiota. *Innovative Research for Biosis-Abiosis Intelligent Interface Symposium: The 6th International Symposium for Interface Oral Health Science (Sendai)*, 2016.1.18-19.
7. Tada N, Hoshikawa Y, Sato T, Hosokawa R, Takahashi N, Koseki T: Acetone analysis in perioperative patients of lung cancer under oral hygiene program. *MASCC/ISOO 2016 (The Multinational Association of Supportive Care in Cancer / International Symposium on Supportive Care in Cancer)* (Adelaide, Australia) 2016.6.23-25.
8. 田中香お里, 佐藤拓一, 八巻恵子, 林 将大, 河村好章: 歯科感染症から分離されたグラム陽性嫌気性菌の薬剤感受性. 第64回日本化学療法学会西日本支部総会(那覇) 2016.11.24-26.
9. 森田匡彦, 神村彩子, 岡田朋美, 佐藤菜美, 佐藤英世: グルタチオン投与による特徴的アミノ酸代謝プロファイルとレドックス動態. 日本アミノ酸学会10周年記念大会(東京) 2016.9.11-13.
10. 佐藤菜美, 久住亮介, 坂内四郎, 佐藤英世: シスチン/グルタミン酸トランスポーター(xc-系)の活性が

- 高転移性マウスメラノーマの浸潤の及ぼす影響. 第89回日本生化学会大会 (仙台) 2016.9.25-27.
11. 浜島真司, 本間拓二郎, 小林 翔, 倉橋敏裕, 佐藤英世, 藤井順逸: 精子形成過程におけるシスチントランスポーター・xCTの生理機能. 第89回日本生化学会大会 (仙台) 2016.9.25-27.
  12. 保坂幸男, 池主雅臣, 柏 麻美, 廣木次郎, 土田圭一, 木村新平, 藤原裕季, 中村則人, 酒井亮平, 西田耕太, 高橋和義, 小田弘隆: 心内膜・心筋中層に起源を有する2種類の心室頻拍に心内膜側からのカテテル治療が有効であった心サルコイドーシスの一例. 第28回臨床不整脈研究会 (東京) 2016.1.9.
  13. 長谷川祐紀, 和泉大輔, 大槻 総, 八木原伸江, 飯嶋賢一, 佐藤光希, 池主雅臣, 南野 徹: 断線によるCRT左室リード留置部位の変更で異なる臨床経過を呈した3例. 第28回臨床不整脈研究会 (東京) 2016.1.9.
  14. 廣木次郎, 保坂幸男, 高橋和義, 柏 麻美, 土田圭一, 木村新平, 藤原裕季, 中村則人, 西田耕太, 酒井亮平, 池主雅臣, 小田弘隆: 心臓電気生理検査で明らかな洞機能異常を特定できず, 植え込み型ループレコーダーにて洞不全症候群と診断し得た1例. 第8回植え込みデバイス関連冬季大会 (小倉) 2016.2.5-7.
  15. Chinushi M, Suzuki K, Saitoh O, Furushima H, Iijima K, Izumi D, Satoh A, lwafuchi M: Functional modification of renal autonomic nerve activity: correlation between electrical stimulation-induced BP augmentation and structural damage to the renal artery. The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (Sendai) 2016.3.18-20.
  16. Otsuki S, Izumi D, Suda M, Satoh A, Hasegawa Y, Yagihara N, Watanabe H, Chinushi M, Minamino T: Comparisons of the effect of anticoagulation therapies on the coagulation system including the tissue factor pathway. The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (Sendai) 2016.3.18-20.
  17. Kashiwa A, Hosaka Y, Takahashi K, Hiroki J, Tsuchida K, Kimura S, Fujihara Y, Nakamura N, Sakai R, Nishida K, Chinushi M, Oda H: Clinical outcomes and role of electrophysiological study in aborted sudden cardiac death patients due to idiopathic VF or coronary vasospasm. The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (Sendai) 2016.3.18-20.
  18. Aizawa Y, Satoh M, Kitazawa H, Okabe M, Chinushi M, Aizawa Y, Takatsuki S, Fukuda K: Tachycardia-dependent augmentation of J Waves in a general patient populations without ventricular fibrillation or cardiac arrest. The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (Sendai) 2016.3.18-20.
  19. Chinushi M, Saitoh O, Suzuki K, Kashiwa A, Hosaka Y, Furushima H: Force-control bipolar radiofrequency ablation under monitoring of dv/dt and integral value of impedance decrement. Results from a dual-bath experimental study. The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (Sendai) 2016.3.18-20.
  20. 鈴木克弥, 齋藤 修, 末永有香, 神林真弓, 飯沼裕美, 大井恵子, 池主裕子, 太刀川仁, 山口利夫, 津田隆志, 池主雅臣: 体位変換と運動中の血圧変化からみた交感神経緊張時の血管反応 (トレッドミル運動負荷試験での検討). 第80回日本循環器学会学術集会 (仙台) 2016.3.18-20.
  21. 保坂幸男, 高橋和義, 柏 麻美, 廣木次郎, 土田圭一, 木村新平, 藤原裕季, 中村則人, 酒井亮平, 西田耕太, 小田弘隆, 池主雅臣, 井川 修: Moderator band 起源の2種類のカテコラミン感受性心室頻拍に心腔内エコー・contact forceガイドで高周波治療を行った1例. 第46回臨床心臓電気生理研究会 (金沢) 2016.5.28.
  22. 鈴木克弥, 齋藤 修, 渡辺順也, 菅井綾里, 末永有香, 神林真弓, 飯沼裕美, 大井恵子, 池主裕子, 太刀川仁, 山口利夫, 津田隆志, 池主雅臣: 体位変換と運動負荷時の心拍血圧変動と血管コンプライアンス.トレッドミル運動負荷試験での検討. 第36回日本ホルター・ノンインベシブ心電学 (大宮) 2016.6.11.
  23. Otsuki S, Izumi D, Hasegawa Y, Iijima K, Yagihara N, Sato A, Chinushi M, Minamino T: Risk factors of ventricular fibrillation undersensing in patients with implantable cardioverter-defibrillator. 第63回日本不整脈心電学会学術大会 (札幌) 2016.7.14-17.
  24. Sugiura H, Chinushi M, Sanada A, Okada S, Higuchi K: Catheter ablation greatly improved Quality of Life in patients with paroxysmal atrial fibrillation. 第63回日本不整脈心電学会学術大会 (札幌) 2016.7.14-17.
  25. Sato A, Takano T, Chinushi M, Hasegawa Y, Otsuki S, Yagihara N, Izumi D, Minamino T: Efficacy of

- flecainide therapy for ventricular arrhythmias in an Andersen-Tawil syndrome patient with the KCNJ2 mutation. 第63回日本不整脈心電学会学術大会(札幌)2016.7.14-17.
26. Iijima K, Ishida N, Hasegawa Y, Otsuki S, Yagihara N, Sato A, Izumi D, Chinushi M, Minamino T: Importance of an electrocardiographic screening before implantation of subcutaneous implantable cardioverter-defibrillator. 第63回日本不整脈心電学会学術大会(札幌)2016.7.14-17.
27. Hasegawa Y, Izumi D, Otsuki S, Iizima K, Yagihara N, Sato A, Chinushi M, Minamino T: Evaluation of the applicable candidates of total subcutaneous implantable defibrillator. 第63回日本不整脈心電学会学術大会(札幌)2016.7.14-17.
28. Tagawa M, Nakamura Y, Ochiai Y, Chinushi M, Aizawa Y: The relationship of electrocardiographic characteristics, presence of J-waves and torsade de pointes with hypothermia. 第63回日本不整脈心電学会学術大会(札幌)2016.7.14-17.
29. Hosaka Y, Chinushi M, Takahashi K, Kashiwa A, Hiroki J, Tsuchida K, Kimura S, Fujihara Y, Nakamura N, Nishida K, Sakai R, Oda H: Roles of step-by-step catheter ablation and STe-Q sign as an early-stage treatment of electrical-storm associated with structural heart diseases. 第63回日本不整脈心電学会学術大会(札幌)2016.7.14-17.
30. Chinushi M, Saitoh O, Suzuki K, Sugai A, Watanabe J, Iijima K, Sato A, Izumi D, Furushima H: Cervical Sympathetic Nerve (CSN) and Renal Autonomic Nerve (RAN) interventions and supplemental effects of Bepridil for the treatment of ventricular arrhythmias. 第63回日本不整脈心電学会学術大会(札幌)2016.7.14-17.
31. 石田尚子, 西塔 毅, 岡田 隆, 長谷川進, 長谷川祐紀, 大槻 総, 飯嶋賢一, 八木原伸江, 佐藤光希, 和泉大輔, 池主雅臣, 南野 徹: ICDにおける新たなセンシングフィルター(低周波減衰機能)の有用性の検討. 第63回日本不整脈心電学会学術大会(札幌)2016.7.14-17.
32. 廣木次郎, 保坂幸男, 高橋和義, 袴田崇裕, 酒井亮平, 西田耕太, 須藤洸司, 田中孔明, 土田圭一, 小田弘隆, 池主雅臣: 洞不全症候群の診断における各種検査法の有用性の検討. 第288回新潟循環器談話会(新潟)2016.9.10.
33. 渡辺順也, 齋藤 修, 鈴木彩華, 鈴木里奈, 田中奈々, 和田ちづる, 菅井綾里, 鈴木克弥, 池主雅臣: 高周波カテーテルアブレーションにおけるインピーダンスモニタリングの有用性. 平成28年度(第5回)日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会(新潟)2016.10.1-2.
34. 廣木次郎, 保坂幸男, 池主雅臣, 高橋和義, 土田圭一, 田中孔明, 須藤洸司, 酒井亮平, 西田耕太, 袴田崇裕, 小田弘隆: カテーテル先端保持が困難な心腔内構造物起源の心室性不整脈にCARTOSOUND/SMART/TOUCHを用いたアプローチで治療に成功した2例. 第14回信越心電図セミナー(妙高市赤倉)2016.10.8.
35. Tagawa M, Nakamura Y, Ochiai Y, Chinushi M, Aizawa Y: The relationship of electrocardiographic characteristics, presence of J-waves and torsade de pointes with hypothermia. The 9th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (Seoul, Korea) 2016.10.12-15.
36. Tagawa M, Nakamura Y, Ochiai Y, Chinushi M, Aizawa Y: The relationship of electrocardiographic characteristics, presence of J-waves and torsade de pointes with hypothermia. The 9th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (Seoul, Korea) 2016.10.12-15.
37. Chinushi M, Saitoh O, Watanabe J, Sugai A, Tagawa M, Furushima H: Force-control bipolar radiofrequency ablation under monitoring of  $dv/dt$  and integral value of impedance decrement. Results from a dual-bath experimental study. The 9th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (Seoul, Korea) 2016.10.12-15.
38. 廣木次郎, 保坂幸男, 高橋和義, 土田圭一, 田中孔明, 須藤洸司, 酒井亮平, 西田耕太, 袴田崇裕, 池主雅臣, 小田弘隆: 最早期興奮部位での通電で停止せず, セカンドベストである対側からの焼灼で治療に成功した心房・心室性不整脈の3症例. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会(福岡)2016.10.27-29.
39. 田川 実, 落合幸江, 中村裕一, 古島博司, 池主雅臣: 特発性心室期外収縮焼灼後に新たな心室頻拍が発症し, 治療のため左冠尖よりの高出力通電を要した1例. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会(福岡)2016.10.27-29.

40. 長谷川裕紀, 和泉大輔, 大槻 総, 飯嶋賢一, 八木原伸江, 佐藤光希, **池主雅臣**, 南野 徹: 3Dマッピングを用いて冠静脈洞憩室内副伝導路を同定しカテーテルアブレーションに成功したWPW症候群の1例. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会(福岡) 2016.10.27-29.
41. 保坂幸男, **池主雅臣**, 高橋和義, 廣木次郎, 柏 麻美, 土田圭一, 田中孔明, 須藤洸司, 酒井亮平, 西田耕太, 袴田崇裕, 小田弘隆: カテーテル先端保持が困難な心腔内構造物起源の心室性不整脈にCARTOSOUND-SmartTouchを用いたアプローチで治療に成功した2症例. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会(福岡) 2016.10.27-29.
42. 杉浦広隆, 真田明子, 富井亜佐子, 樋口浩太郎, **池主雅臣**: 進行性心臓伝導障害の病像初期に右脚ブロック北西軸型の心室頻拍を生じた1例. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会(福岡) 2016.10.27-29.
43. 杉浦広隆, 真田明子, 富井亜佐子, 樋口浩太郎, **池主雅臣**, 内藤滋人: 誘発困難な右房Maze術後心房頻拍に対し, 外科的冷凍線状焼灼のブロックラインの再確立が有効であった1例. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会(福岡) 2016.10.27-29.
44. 黒田 毅, 長谷川絵理子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, **中野正明**, 成田一衛: AAアミロイド腎症への対応. 第60回日本リウマチ学会総会・学術集会(横浜) 2016.4.21-23.
45. 中枝武司, 長谷川絵理子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: ANCA関連血管炎性中耳炎に対する免疫抑制薬の選択. 第60回日本リウマチ学会総会・学術集会(横浜) 2016.4.21-23.
46. 星 佳織, **中野正明**: 全身性エリテマトーデス患者における抗C1q抗体の測定意義に関する研究. 第60回日本リウマチ学会総会・学術集会(横浜) 2016.4.21-23.
47. 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 長谷川絵理子, 中枝武司, 近藤直樹, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 関節リウマチ患者におけるシスタチンCを用いたeGFR値の有用性について(第二報). 第60回日本リウマチ学会総会・学術集会(横浜) 2016.4.21-23.
48. 和田庸子, 長谷川絵理子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: ANCA関連血管炎患者における活性化部分トロンボプラスチン時間は, 疾患活動性を反映する. 第60回日本リウマチ学会総会・学術集会(横浜) 2016.4.21-23.
49. 長谷川絵理子, 和田庸子, 野澤由貴, 佐藤弘恵, 中枝武司, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: ANCA関連血管炎の長期生命予後および腎予後. 第60回日本リウマチ学会総会・学術集会(横浜) 2016.4.21-23.
50. 佐藤弘恵, 近藤直樹, 小林大介, 伊藤 聡, 中園 清, 村澤 章, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 関節リウマチ患者における酸化ストレス度と疾患活動性および動脈硬化との関連についての検討. 第60回日本リウマチ学会総会・学術集会(横浜) 2016.4.21-23.
51. 霍間勇人, 佐藤弘恵, 長谷川絵理子, 野澤由貴子, 中枝武司, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 肝障害, 汎血球減少, 皮疹, 多発リンパ節腫脹を伴う周期性発熱を呈し, 家族性地中海熱非典型例と診断された一例. 第102回膠原病研究会(新潟) 2016.6.7.
52. 霍間勇人, 佐藤弘恵, 長谷川絵理子, 野澤由貴子, 中枝武司, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 肝障害, 汎血球減少, 皮疹, 多発リンパ節腫脹を伴う周期性発熱を呈し, 家族性地中海熱非典型例と診断された一例. 第138回日本内科学会信越地方会(新潟) 2016.6.11.
53. 黒田 毅, 長谷川絵理子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, **中野正明**, 成田一衛: AA型アミロイドーシスと生物学的製剤. 第59回日本腎臓学会学術総会(横浜) 2016.6.17-19.
54. 長谷川絵理子, 和田庸子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, **中野正明**, 成田一衛: ANCA関連血管炎の腎および長期生命予後. 第59回日本腎臓学会学術総会(横浜) 2016.6.17-19.
55. 和田庸子, 長谷川絵理子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, **中野正明**, 成田一衛: ANCA関連血管炎における活性化部分トロンボプラスチン時間は, 疾患活動性を反映する. 第59回日本腎臓学会学術総会(横浜) 2016.6.17-19.
56. 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 長谷川絵理子, 中枝武司, 和田庸子, 風間順一郎, **中野正明**, 成田一衛: 関節リ



- ウマチ患者におけるシスタチンCを用いたeGFR値の有用性について. 第59回日本腎臓学会学術総会(横浜) 2016.6.17-19.
57. 長谷川絵理子, 和田庸子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 高田琢磨, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 種々の疾患特異的自己抗体が陽性で, TAFRO症候群と考えられた1例. 第28回中部リウマチ学会(福井) 2016.9.2-3.
58. 黒田 毅, 長谷川絵理子, 若松彩子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, **中野正明**, 成田一衛: 生物学的製剤により骨病変が修復されバイオフィリー, ドラッグフリーを達成した関節リウマチの一例. 第28回中部リウマチ学会(福井) 2016.9.2-3.
59. 星 佳織, **中野正明**: 全身性エリテマトーデス(SLE)患者における免疫グロブリンクラス別抗dsDNA抗体の測定意義に関する研究. 第28回中部リウマチ学会(福井) 2016.9.2-3.
60. 鴨田知明, 中枝武司, 若松彩子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 妊娠を契機にループス腸炎で発症した全身性エリテマトーデスの1例. 第28回中部リウマチ学会(福井) 2016.9.2-3.
61. 和田庸子, 長谷川絵理子, 若松彩子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: ミコフェノール酸モフェチルによる寛解導入療法中に, 致死的な播種性水痘感染を発症したループス腎炎の2例. 第28回中部リウマチ学会(福井) 2016.9.2-3.
62. 中枝武司, 若松彩子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: びまん性肺胞出血を合併した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の一例. 第28回中部リウマチ学会(福井) 2016.9.2-3.
63. 鈴木 遼, 中枝武司, 若松彩子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: インフリキシマブが奏功した高安動脈炎の一例. 第28回中部リウマチ学会(福井) 2016.9.2-3.
64. 米沢正貴, 中枝武司, 若松彩子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 全身性強皮症, 顕微鏡的多発血管炎に大動脈周囲炎を合併した一例. 第28回中部リウマチ学会(福井) 2016.9.2-3.
65. 霍間勇人, 佐藤弘恵, 長谷川絵理子, 野澤由貴子, 中枝武司, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 成人スチル病所見を伴う周期性発熱を呈し家族性地中海熱非典型例と診断された一例. 第28回中部リウマチ学会(福井) 2016.9.2-3.
66. 佐藤弘恵, 長谷川絵理子, 若松彩子, 野澤由貴子, 中枝武司, 和田庸子, 伊藤朋之, 黒田 毅, 佐伯敬子, **中野正明**, 成田一衛: 成人発症の慢性再発性多発性骨髄炎の2例. 第28回中部リウマチ学会(福井) 2016.9.2-3.
67. 鴨田知明, 中枝武司, 若松彩子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 妊娠を契機にループス腸炎で発症した全身性エリテマトーデスの1例. 第103回膠原病研究会(新潟) 2016.11.1.
68. 諏訪部達也, 柴崎康彦, 宮腰淑子, 布施香子, 小林弘典, 牛木隆志, 森山雅人, 瀧澤 淳, **成田美和子**, 曾根博仁, 増子正義: アルブミン, フェリチン, CRPを用いた Biomarker index は, 造血幹細胞移植前患者に対するHCT-CIとは独立した予後予測因子である. 第38回日本造血細胞移植学会総会(名古屋) 2016.3.3.
69. 諏訪部達也, 柴崎康彦, 片桐隆幸, 宮腰淑子, 布施香子, 小林弘典, 牛木隆志, 森山雅人, 瀧澤 淳, **成田美和子**, 曾根博仁, 増子正義: 抗CCR4抗体併用化学療法により寛解が得られた後に, 臍帯血移植を行ったATLLの1例. 第4回日本血液学会関東甲信越地方会(東京) 2016.3.19.
70. Okeyo KO, Itagaki Y, Kurosawa O, Narita M, Oana H, Washizu M: A microfluidic device for one-to-one cell electrofusion and its application toward the generation of dendritic cells for cancer immunotherapy. The 18th International GI/ITG Conference on "Measurement, Modelling and Evaluation of Computing Systems" and "Dependability and Fault-Tolerance", MMB & DFT (Seoul, Korea) 2016.4.20-22. (The Best Poster Award受賞)
71. Uchiyama T, Goto W, Yamada S, Shibasaki Y, Takizawa J, Aoki S, Sone H, Masuko M, Takahashi M, Narita M: The usage of T cell receptor  $\beta$ -chain variable region of WT1 specific cytotoxic T lymphocytes in CML patient treated with WT1 peptide vaccination. The 7th JSH International Symposium (Awaji, Hyogo) 2016.5.13.
72. Fuse K, Ushiki T, Sato N, Yano T, Moriyama M, Kuroha T, Takizawa J, Hashimoto S, Narita M, Furukawa

- T, Sone H, Masuko M: A pre-transplant biomarker risk index based on serum ferritin, albumin, and C-reactive protein levels that can predict the outcomes of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation independently of the HCT-CI. The 21st Congress of European Hematology Association (EHA) (Copenhagen, Denmark) 2016.6.9.
73. 片桐隆幸, 牛木隆志, 田中智之, 宮越淑子, 難波亜矢子, 河本啓介, 柴崎康彦, 滝澤 淳, 成田美和子, 曾根博仁, 青木定夫, 増子正義: 扁桃・リンパ節に多発性myeloid sarcomaを生じたMDSの1例. 第5回日本血液学会関東甲信越地方会(新潟) 2016.7.2.
74. 宮越淑子, 柴崎康彦, 諏訪部達也, 片桐隆幸, 小林弘典, 布施香子, 森山雅人, 滝澤 淳, 成田美和子, 曾根博仁, 増子正義: HLA半合致移植を施行した最重症再生不良性貧血の1例. 第5回日本血液学会関東甲信越地方会(新潟) 2016.7.2.
75. 鈴木隆晴, 田村 秀, 上村 駿, 海發 茜, 河本啓介, 根本洋樹, 小林弘典, 牛木隆志, 布施香子, 柴崎康彦, 森山雅人, 増子正義, 成田美和子, 曾根博仁, 青木定夫, 中村直哉, 大島孝一, 滝澤 淳: 当科におけるPTCL, NOS28例の臨床病理学的解析. 第5回日本血液学会関東甲信越地方会(新潟) 2016.7.2.
76. 布施香子, 柴崎康彦, 森山雅人, 増子正義, 成田美和子, 曾根博仁, 瀧澤 淳, 中村直哉, 大島孝一: 当科におけるIVLBCL 14例の臨床病理学的検討. 第56回日本リンパ網内系学会総会(熊本) 2016.9.1.
77. 布施香子, 柴崎康彦, 片桐隆幸, 小林弘典, 牛木隆志, 瀧澤 淳, 成田美和子, 曾根博仁, 増子正義: The predictive factors of favorable prognosis after allo-HSCT to refractory acute leukemia. 第76回日本血液学会総会(横浜) 2016.10.14.
78. 小林弘典, 吉村宣彦, 諏訪部達也, 片桐隆幸, 宮越淑子, 牛木隆志, 布施香子, 柴崎康彦, 森山雅人, 瀧澤 淳, 成田美和子, 曾根博仁, 増子正義: Significance of dual-energy CT to evaluate liver iron content in transfusion-dependent patients. 第76回日本血液学会総会(横浜) 2016.10.14.
79. 田村 秀, 鈴木隆晴, 上村 駿, 海發 茜, 根本洋樹, 笠見卓哉, 河本啓介, 小林弘典, 牛木隆志, 布施香子, 柴崎康彦, 森山雅人, 増子正義, 成田美和子, 曾根博仁, 瀧澤 淳, 中村直哉, 大島孝一: Retrospective analysis of AITL in Niigata University Medical and Dental Hospital. 第76回日本血液学会総会(横浜) 2016.10.14.
80. 上村 駿, 布施香子, 柴崎康彦, 根本洋樹, 小林弘典, 牛木隆志, 瀧澤 淳, 成田美和子, 曾根博仁, 増子正義: Successful AML-type therapy switched from pre-phase PSL for mixed phenotype acute leukemia T/M, NOS. 第76回日本血液学会総会(横浜) 2016.10.14.
81. Fuse K, Katagiri T, Shibasaki Y, Tanaka T, Ushiki T, Sato N, Yano T, Kuroha T, Hashimoto S, Furukawa T, Narita M, Sone H, Masuko M: The predictive factors of favorable prognosis after Allo-HSCT for refractory acute leukemia. The 58th American Society of Hematology (ASH), Annual Meeting (San Diego, USA) 2016.12.3.
82. Tomiyama C, Watanabe H: The blockade of estrogen receptors on dendritic cells exacerbates autoimmune hepatitis. The 45th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology (Naha) 2016.12.5-7.
83. 山際 訓, 松田康伸, 寺井崇二: ベザフィブラート投与原発性胆汁性胆管炎症例におけるUDCA投与量の検討. 第52回日本肝臓学会総会(東京) 2016.5.19.
84. 山際 訓, 松田康伸, 寺井崇二: 原発性胆汁性肝硬変に対するUDCA至適投与量の再検討. 第52回日本肝臓学会総会(東京) 2016.5.19.
85. Izumida R, Aizawa Y, Watanabe K, Saitoh A: A role of intravenous immunoglobulin in human Parechovirus Type 3 infection using an *in vitro* model. IDWeek 2016 (New Orleans, USA) 2016.10.26-30.
86. 泉田亮平, 相澤悠太, 渡邊香奈子, 齋藤昭彦: ヒトパレコウイルス3型に対するヒト免疫グロブリンの*in vitro*における効果. 第48回小児感染症学会学術集会(岡山) 2016.11.19-20.
87. Okuda A, Hirose H, Futaki S. A new method to detect interactions between CPP-delivered protein and intracellular target protein. Institute for Chemical Research International Symposium 2016 (Kyoto) 2016.3.7-8.
88. 齋藤 修, 渡辺順也, 戸内悠喬, 長井菜々子, 近藤佑紀, 千葉睦実, 鈴木克弥, 大矢佳奈, 古嶋博司, 池主雅臣: 高周波カテーテルアブレーション治療のスチームポップ発症に関係する因子 (Bipolar通電の実験的検討). 第80回日本循環器学会学術集会(仙台) 2016.3.18-20.
89. 齋藤 修, 渡辺順也, 菅井綾里, 鈴木克弥, 古嶋博司, 池主雅臣: Bipolar高周波アブレーション治療を安

- 全効果的に行う電気指標の構築. 第36回日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会 (大宮) 2016.6.11.
90. Saitoh O, Suzuki K, Oya K, Sugai A, Watanabe J, Okuda A, Furushima H, Chinushi M: Different depth effects of bipolar catheter ablation between the endocardial and epicardial myocardium. Experimental study using contact-force controlled single and dual bath arrangements. 第63回日本不整脈心電学会学術大会 (札幌) 2016.7.14-17.
91. Saitoh O, Watanabe J, Sugai A, Suzuki K, Tagawa M, Furushima H, Chinushi M: Establishment of additional electrical parameters for safely and effectively performing bipolar radiofrequency ablation. Observations from an experimental study. The 9th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (Seoul, Korea) 2016.10.12-15.
92. 橋爪裕宜, サトウ恵, Sato Otake Marcello, Tippayarat Yoonuan, Surapol Sanguankiat, Tiengkham Pongvongsa, 門司和彦, 源 利文: 環境DNA手法を用いたタイ肝吸虫*Opisthorchis viverrini*の環境水中からの検出. 第85回日本寄生虫学会大会 (宮崎) 2016.3.19-20.
93. サトウ オオタケ マルセロ, Coutinho Itagoes HILS, サトウ恵, Figuiere do Benta NS, Pinheiro Sandra MB, 千種雄一: Clinical and molecular confirmation of *Echinococcus vogeli* in Tocantins State-Brazil, and its potential risk for travelers. 第85回日本寄生虫学会大会 (宮崎) 2016.3.19-20.
94. 伊藤 誠, サトウ恵, Tiengkham Pongvongsa, Tippayarat Yoonuan, Surapol Sanguankiat, Jitra Waikagul, 長岡史晃, Sato Otake Marcello, 門司和彦: ラオスのタイ肝吸虫症: 胆管癌の高リスクグループ発見のための尿検査. 第85回日本寄生虫学会大会 (宮崎) 2016.3.19-20.
95. サトウ恵, Sato Otake Marcello, Tippayarat Yoonuan, Surapol Sanguankiat, Jitra Waikagul, Tiengkham Pongvongsa, 門司和彦, 狩野繁之: *Opisthorchis viverrini*感染者の糞便を使用した遺伝子検査への検体処理方法の検討. 第85回日本寄生虫学会大会 (宮崎) 2016.3.19-20.
96. Sato M, Hashizume H, Sato MO, Ikeda S, Yoonuan T, Sanguankiat S, Pongvongsa T, Moji K, Minamoto T: Application of environmental DNA to detect *Opisthorchis viverrini* DNA in water samples in Savhannakhet, Laos. The 10th National Health Research Forum, Laos (Savannakhet, Laos) 2016.10.27-28. (The 2nd Best Poster Award受賞)
97. サトウ マルセロ オオタケ, サトウ恵, Yoonuan Tippayarat, Pongvongsa Tiengkham, Sanguankiat Surapol, Boupfa Bounngong, Maipanich Wanna, 千種雄一, 門司和彦, Waikagul Jitra: メコン川流域の農村地帯における犬が人獣共通蠕虫感染に及ぼす役割. 第57回日本熱帯医学会大会 (東京) 2016.11.5-6.
98. サトウ恵, 橋爪裕宜, Sato Otake Marcello, Yoonuan Tippayarat, Surapol Sanguankiat, 池田 董, Pongvongsa Tiengkham, 門司和彦, 源 利文: 環境水中でタイ肝吸虫*Opisthorchis viverrini* DNAを検出するための環境DNA手法の開発. 第57回日本熱帯医学会大会 (東京) 2016.11.5-6.
99. 須貝美佳, 高橋加奈絵, 池亀央嗣, 坂下千明, 大橋瑠子, 梅津 哉: 上部尿路上皮癌と膀胱癌~尿中異形細胞の比較検討~. 第33回日本臨床細胞学会新潟支部学術集会 (新潟) 2016.7.16.
100. 林 真也, 池田友美, 橋詰香織, 八木美菜, 上原桂月, 建部勝彦, 高橋直子, 須貝美佳: 液状化検体細胞診の保存液によるDNAへの影響. 第65回日本医学検査学会 (神戸) 2016.9.3.
101. 高橋加奈絵, 須貝美佳, 池亀央嗣, 坂下千明, 大橋瑠子, 梅津 哉: パルボウイルス感染を疑った骨髄細胞診の一例. 第30回関東臨床細胞学会 (甲府) 2016.9.10.
102. 須貝美佳, 岩淵三哉, 高橋加奈絵, 池亀央嗣, 坂下千明, 大橋瑠子, 梅津 哉: 悪性顆粒細胞腫の一例. 第55回日本臨床細胞学会秋季大会 (別府) 2016.11.18.
103. Nozaki H: Distinct molecular mechanisms of HTRA1 mutants in manifesting heterozygotes with CARASIL. 第5回新潟脳研生理研合同シンポジウム (岡崎) 2016.3.1.
104. Nozaki H, Kato T, Nihonmatsu M, Saito Y, Mizuta I, Noda T, Koike R, Miyazaki K, Kaito M, Ito S, Makino M, Koyama A, Shiga A, Uemura M, Sekine Y, Hara K, Yoshida M, Nishizawa M, Mizuno T, Onodera O: Distinct molecular mechanisms of HTRA1 mutants in manifesting heterozygotes with CARASIL. 第57回日本神経学会学術大会 (神戸) 2016.5.18.
105. Uemura M, Nozaki H, Sekine Y, Mizuta I, Noda T, Koike R, Miyazaki K, Kaito M, Makino M, Fukutake T, Mizuno T, Nishizawa M, Onodera O: Diagnostic criteria for cerebral small vessel disease with HTRA1 mutant.

第57回日本神経学会学術大会（神戸）2016.5.18.

106. 野崎洋明, 加藤泰介, 水田依久子, 水野敏樹, 西澤正豊, 小野寺理: HTRA1遺伝子ヘテロ接合変異における脳小血管病発症機序の解明. 第21回日本病態プロテアーゼ学会学術集会（豊中, 大阪）2016.8.5.
107. Nozaki H, Kato T, Nihonmatsu M, Saito Y, Mizuta I, Noda T, Koike R, Miyazaki K, Kaito M, Ito S, Makino M, Koyama A, Shiga A, Uemura M, Sekine Y, Hara K, Yoshida M, Nishizawa M, Mizuno T, Onodera O: Distinct molecular mechanisms of HTRA1 mutants in manifesting heterozygotes with CARASIL. 第35回日本認知症学会学術集会（東京）2016.12.1.